

令和2年度 もも施肥基準について

☆年間施肥基準量(成木:10a当たり)

N	P	K
18	12	12

【今年の異常気象により根の衰弱が心配されるので、施肥は1度にまとめて使用せず、徐々に吸収できるように分割で使用して下さい。】

1. 礼 肥 年間施用量の2～3割を9月下旬に施用する。
注意⇒【礼肥は樹勢の弱い場合に使用し、樹勢の強い場合や若木は落葉を遅らせてしまうので元肥で対応する。】
2. 元 肥 10月中に施用する(落葉前の使用)。

3. 春 肥 時期3月下旬頃 硝磷安加里S604 1袋
近年の異常天候により春肥は重要になります。樹勢回復のためにも必ず施用して下さい。

4. 施用例(10a当たり)【新梢の伸びが強い場合や若木への礼肥は控えて下さい】

タイプ	礼 肥		基 肥		成分量		
	肥料名	施用量	肥料名	施用量	窒素	磷酸	加里
①	硝磷安加里S604	1袋	みらい物語 もも基肥(旧もも専用一発)	6袋	17.6	14.0	6.4
②	硝磷安加里S604	1袋	みらい物語 くだものオールスター	7袋	17.0	10.4	11.2
③	硝磷安加里S604	2袋	尿素複合磷加安212	3袋	18.4	10.0	17.6

○高温乾燥が続く場合は灌水を実施する。

○生育期間中に葉色が淡くなるなど、肥切れ症状が発生した場合は追肥を実施すること。

その際は速効性肥料を使用する。(チツソ成分で2～4Kg)

【樹勢回復対策】

- ①セリファーム(粒状:15kg入り)… 9月～10月に10aあたり3袋施用で微量要素を補給(秋と春)
 - ②ステビア堆肥…1樹当たり 10～20kg(樹冠下施用)(秋から春早くまでに施用)
⇒ファームS 1,000倍液を春先の乾燥時に土壌散布(10a当たり…500ℓ程度)
※落花後(5月の連休頃)に軽く灌水する程度で実施する。
 - 施用量は、土壌条件、着果量、樹令、樹勢により適宜調整する。
 - 土壌のPHの調整については、土壌分析を実施し適宜調整する。
- ☆微量要素補給のため『マルチサポート1号』を10a当たり2～3袋の使用もお勧め。

◎数年毎に土壌分析を行い、状態を把握したうえで施肥を実施して下さい！！
土壌分析を実施する場合は各営農センターへご相談のうえ、お申し込み下さい。



天然ミネラルセリサイト

セリファーム

粒状

ゴールド

ブルーS

グリーン

セリファームは天然鉱物を使用した安全で、作物の成長に役立つ環境に優しい土壌改良材、作物生育用資材です。

※農薬、化学肥料ではありません。

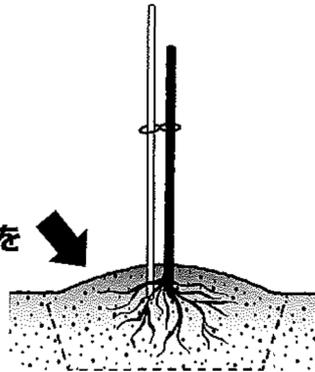
下記の様な症状の樹におすすめします。

- 紋羽菌等による樹勢の衰えのある木
- 排水不良による樹勢の衰えのある木
- 色付きが悪い木
- 苗木の新植、改植
- 移植
- その他の樹勢の弱っている木【随時】

施用方法 (例)

新植、改植、移植に!

埋戻し土量のセリファーム粒状10%を土とよく混ぜて、土壌改良を行う。



根元に施用するだけ!



施用量

	粒 状
わい化台	1kg ~ 1.5kg
マル葉台	12年生未満 1.5kg ~ 2.5kg
	12年生以上 2.5kg以上
苗木	約1kg

*基本は上記の施用量ですが、樹齡、木の大きさによっては、多めに施用すると効果が高いです。

施用時期 (年2回)

- 秋 (収穫後) : 降雪前に施用し、雪解け水と一緒に土に浸み込ませる。
- 春 (乾燥前) : 雪の水分があるうちに施用する又は梅雨前施用

*基本は上記の通り年2回ですが、生育期間においても樹勢が弱いと感じた時に施用してください。(随時)

セリファーム 粒状

使用方法

作物名	面積	施用量	施用時期	効果
穀物類	10a	5~7袋	耕耘前・収穫後	土壌酸度調節
果樹類	1本当り	1~3kg	春・秋収穫後(注1)	珪酸質供給
果菜類、葉菜類	10a	5~7袋	耕耘前・収穫後	土壌の物理性改善
根菜類	10a	5~7袋	耕耘前・収穫後	土壌の保水効果
育苗種	上土1t当り	0.5袋		

(注1) 生育期間においても樹勢が弱いと感じた時施用して下さい。(随時)

※他アルカリ性製品との混用は出来るだけおやめ下さい。

保証表示

1. 資材の種類: 土壌改良材 2. 重量: 15kg 3. 主要原材料: 絹雲母

成分名	SiO ₂	Al ₂ O ₃	CaO	MgO	Na ₂ O	K ₂ O	Fe ₂ O ₃	TiO ₂	MnO	強熱減量
含量 (%)	70.7	15.2	0.91	0.89	0.53	3.11	2.09	0.24	0.02	2.99

地方独立行政法人 青森県産業技術センター弘前地域研究所による分析

